

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

2-ヒドロキシメチル-2-メチル-1,3-プロパンジオールのオオミジンコ (*Daphnia magna*)に
対する繁殖阻害試験

試験番号

7 B 7 5 9 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.202「ミジンコ類，急性遊泳阻害試験および繁殖試験」（1984年4月採択）の改訂版であるガイドライン No.211「オオミジンコ繁殖試験」（1997年4月提案）に準拠して実施した。

- 1)被験物質： 2-ヒドロキシメチル-2-メチル-1,3-プロパンジオール
- 2)暴露方式： 半止水式（週に3回，試験液の全量を交換）
- 3)供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4)暴露期間： 21日間
- 5)試験濃度(設定値)： 対照区，100 mg/L（試験上限濃度）
- 6)試験液量： 1 容器（連）につき 80 mL
- 7)連数： 10容器（連）／濃度区
- 8)供試生物数： 10頭／濃度区（1 連につき1 頭）
- 9)試験温度： 20±1℃
- 10)照明： 16時間明／8時間暗
- 11)被験物質の分析： GC法

結 果

1)試験液中の被験物質濃度

暴露期間中に測定した試験液の被験物質濃度が、設定値の±20%を越えたため、各影響濃度の算出には実測値（時間加重平均値）を採用した。

2)21 日間の親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) :

>88.5 mg/L

3)21 日間の 50% 繁殖阻害濃度 (EC50) :

>88.5 mg/L

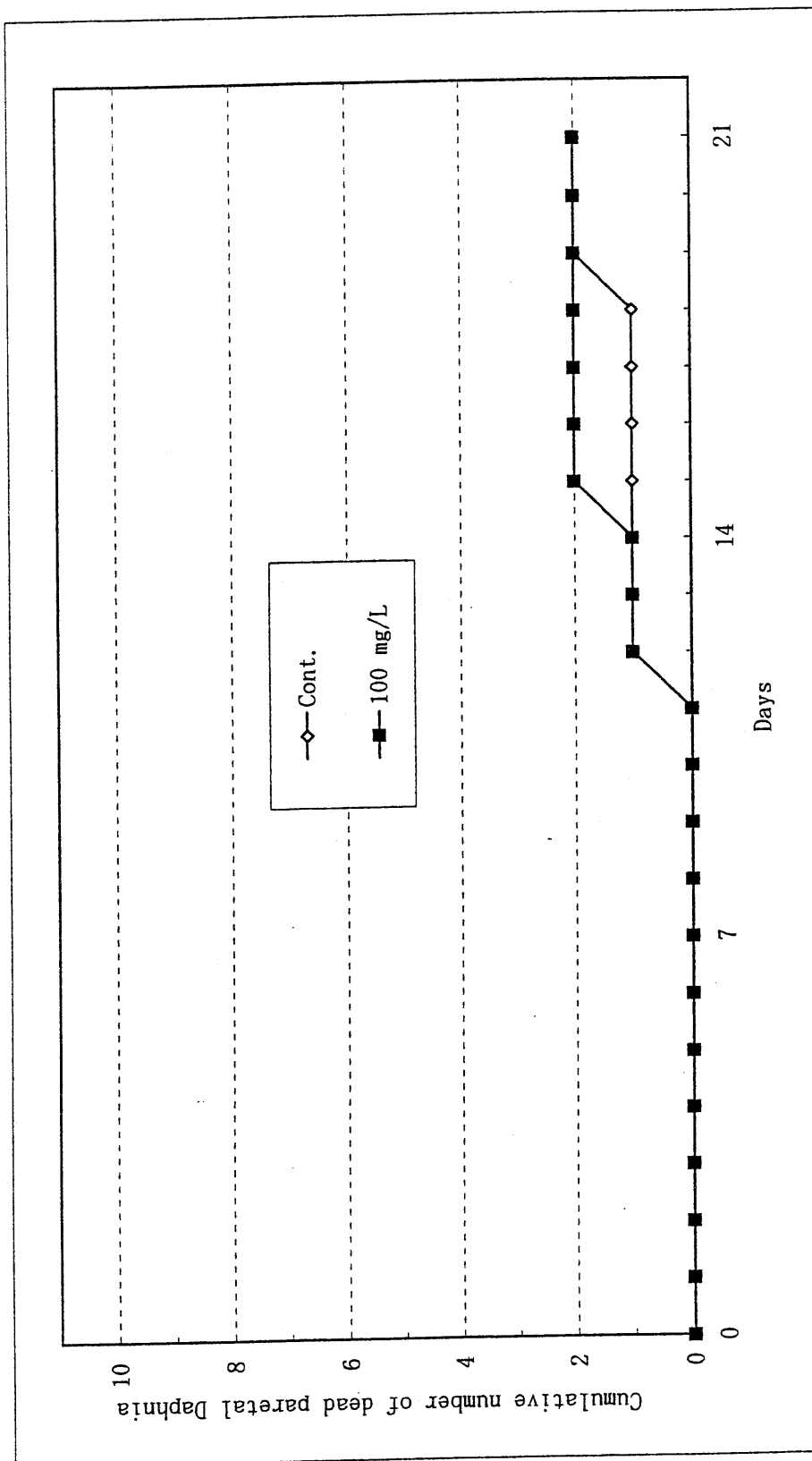
4)21 日間の最大無作用濃度(NOEC) :

>88.5 mg/L

5)21 日間の最小作用濃度(LOEC) :

>88.5 mg/L

Figure 1 Cumulative Numbers of Dead Parental *Daphnia*

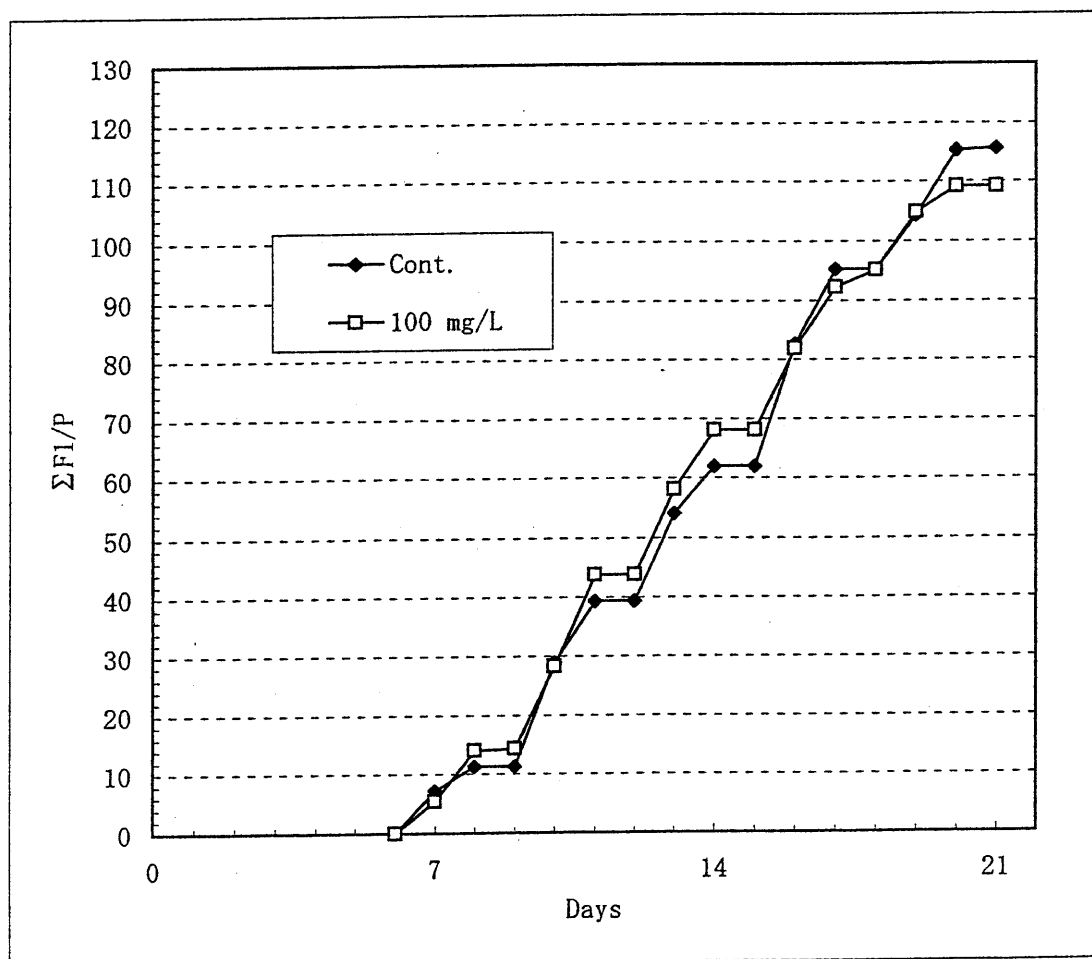


Values in legend are given in the nominal concentration.

Table 4 Mean Cumulative Numbers of Juveniles Produced per Adult Alive for 21 Days ($\Sigma F1/P$)

Nominal Conc.	Days																
	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
Cont.	0.0	7.3	11.4	11.4	28.9	39.4	39.4	54.0	61.9	61.9	82.6	95.3	95.3	104.4	115.4	115.6	
100 mg/L	0.0	5.4	14.0	14.4	28.3	43.8	43.8	58.0	68.1	68.1	81.9	92.3	95.1	104.9	109.1	109.1	

Figure 2 Time Course of $\Sigma F1/P$ for Each Concentration Level



Values in legend are given in the nominal concentration.